

2025パートナーガイドブック

発行にあたって

管対協会員の皆様、管対協パートナー企業の皆様、平素は管対協並びにマンションセンター京都の活動にご支援、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さて、パートナー企業を紹介する2025パートナーガイドブックをお届けいたします。

1981年の創立以来44年にわたって活動を展開している管対協の運動は、そこに所属する会員管理組合と一人一人の組合員、そしてその活動を支援し協力するパートナー企業と専門家の皆さんによって構成されています。

管理組合団体の全国組織である全国マンション管理組合連合会（略称・全管連）に所属する管理組合団体は19団体ありますが、管対協以外の団体は、会員メンバーとして管理組合やマンション居住者のほか、支援企業も名を連ねています。しかし、管対協では企業や専門家など、会員管理組合を対象に業務を行う者は、管対協とは別組織のマンションセンター京都に所属する形をとっています。これは、成り立ちの異なる者が、同じ組織を構成するのは、合理性がないという認識からきています。管対協は、管理組合やマンションに居住する者達が、快適なマンション生活を実現していくために、情報を交換し、経験を交流させる、あるいは専門家に教を乞うなどの活動を通じて、管理組合の活動を活性化し、より良いマンションライフの実現を目指しています。

パートナーガイドブックは、以上のように管対協運動の一翼を担うパートナー企業を紹介する小冊子です。内容は、各社の企業データや沿革といった一般的な項目のほかに、リフォーム工事の実績や管対協会員マンションでの実績といったことが含まれています。

このようなパートナーガイドブックに示されるような内容と相まって、管対協運動における企業のあり方についても触れておく必要があります。それは、これらパートナー企業が、管対協運動の中で、どのようにパートナー企業としての企業能力を高めているのか、という点です。最もユニークな点は、各パートナー企業が、管対協会員と共に学ぶことができるという点にあります。これは、管対協が主催するセミナーや研究会にパートナー企業も同じように参加し、机を並べて共に学ぶことができる点に見ることができます。年間を通して隔月に開催される地区集会にも参加し、意見を述べることもできます。このような機会を通して、各パートナー企業は、マンション管理を実践的に学ぶことができるようになります。さらにそれと同時に、このような機会を通じて、管理組合やマンション居住者の問題意識や考え方を学ぶことができるようになります。そして、こうした経験を通じて、実際の業務において、よりの確なアプローチを実践していくことが可能になります。また、このような場において、管理組合の人達と、意見を交換し合うことは、管理組合の人達と業者の人たちが、より深い次元で理解し合う事を可能にしていきます。そして、その結果、実際の修繕工事や管理の現場において、より高い次元の結果を生み出していくことが可能になります。

以上、創立以来44年にわたって蓄積されてきた管理組合とそれに連帯するパートナー企業の運動は、今後更なる高みを目指して豊かなマンションライフを実現していきます。

2025年11月27日

NPO法人京滋マンション管理対策協議会
事務局長 谷垣千秋